とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	３側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	・就業規則に雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、それが適切に運用されていることを確認している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ・ハラスメント研修を実施している。 ・ハラスメントを含むコンプライアンス基本規程を策定し、社内および社外の相談窓口等を設置し防止体制を整備している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	・長時間労働是正のため労働時間管理体制を整備し、適切に運用している。 ・現在、新しい勤怠システムの導入を検討しており、３６協定の残業時間を意識させるように、本人、上司、人事にアラートが発信される仕組みとなる。								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	・外国人労働者への差別、人権侵害することなく雇用している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	・安全衛生委員会を毎月開催し、安全で衛生的な環境の整備に努めている。 ・役員による定期的な職場の５S等の点検を行い、整理整頓された職場づくりをしている。 ・業務および通勤、私用時などの交通安全に対して地元の警察署の協力の下、研修会を実施している。			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	・ストレスチェックを定期的に実施し、希望者にはカウンセリングまたは産業医との面談を行っている。 ・ストレスチェック後各部署で環境改善目標を決めて取り組んでいる。			3														
	7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	・多様な人材が活躍できる職場環境を提供している。 ・障害者が活躍できる場を社内に設けている。 ・　知見を有する高齢者が活躍できる人事制度を設けている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	・インフルエンザ予防接種の全額負担。 ・新型コロナのワクチン接種における休暇付与。 ・定期健康診断における検査項目の拡充。 ・45歳以上を対象に人間ドックを実施。			3					8									
	9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	・技能検定試験等の補助規定があり、運用されている。 ・改善活動（賞金有）を導入・定着させており、改善意欲・能力の開発に繋げている。 ・会社指定の内外研修受講に加え、本人の希望に基づき、外部研修セミナーへの参加を推奨している。 ・通信教育・Eラーニングなどの媒体を会社より提供し、自己研鑽を行っている。				4				8	9								
	10	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用	・同一労働・同一賃金の原則を踏まえ、雇用形態の差で待遇を変えていない。								8.5		10.2 10.3							
環境	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	・廃棄物の種類・量を測定し、削減のための年間計画を策定している。 ・全社的に紙の書類、記録等、ペーパーレス化を進め紙の廃棄も減少させる。											11.6	12.3 12.4 12.5		14.1			
	12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	・省エネ促進のため電力量の測定機器を導入し、自社のエネルギー使用量の把握を進めている。							7.3						13				
	13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	・温室効果ガスの排出量は測定していないが、電気自動車・ハイブリッド車の導入、設備のエネルギー消費効率の測定、太陽光発電の導入、冷暖房の適切な温度管理を行っている。							7.2 7.3					12.4	13.3				

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	３側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	・法令で規制されている有害化学物質を把握し、適切な管理をしている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	・適切な廃液処理、リサイクルの推進、環境に影響を及ぼさないような製品を使用し、生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6									15		
	16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用	・水道使用量を把握し、効率的な水利用に努めている。 また河川の自然環境保護のため地元の漁業協同組合の活動に同意し協力をしている。						6.4 6.6											
	17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用	・ISO14001を取得し環境マネジメントシステムによって、環境や生態系に悪影響を及ぼさない運用をしている。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用	・自社のホームページにて環境方針を公開している。												12.6					
	19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用	・太陽光パネルを設置している。							7.2						13				
	20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用	・全社的に紙文書・記録のデジタル化による紙の購入削減を行っている。												12.2	13	14	15		
	21	【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	・社内において不用品の再利用（もったいないリユース活動）を行っている。						6.3					11.6	12 12.5	13	14	15		
公正な事業慣行	22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・コンプライアンス基本方針に掲げ、社員に教育・周知し、適切に運用してる。																16 16.5	
	23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・コンプライアンス基本方針に掲げ、社員に教育・周知し、適切に運用している。																16	
	24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	・知的財産を保護するため特許・商標などの申請手続きを積極的に行っている。								8.2 8.3	9								
	25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	・個人情報保護方針に掲げ、また、就業規則に服務規律として「個人情報に対する適切な管理」を定めており、確実に運用していることを確認している。																16	
	26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用																	16	
	27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用	サプライヤーの評価時にISO14001を念頭に置いた取り組みについての確認を実施することで、環境改善への取り組みを推奨している					5			8		10		12	13	14	15	16	17

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	３側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	・製品ライフサイクルを通して、リスクマネジメントを実施するQMSが構築されており、リスク低減を実施している。 ・製品安全確保の観点から、設計開発・工程設計・製造における、リスクに対して、検証・バリデーションを実施し、許容出来ない残留リスクがない事を確認している。			3.9											12.4					
	29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	・医療機器に求めらえる品質マネジメントシステムISO13485を取得・維持する事で、顧客に対して、安全で有効な製品を提供する仕組みを構築している。 ・リスクを考慮した設計が行われ、仕様通りに製造、その後の市場からの苦情を解析し、製品にフィードバックし、改善に繋げるPDCAの仕組みを構築し、マネジメントしている。									9									
製品・サービス	30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用	・環境側面抽出評価規程で運用している。開発インプット条件に環境に配慮した材料等の設計を行う仕組みを加える。製品（包装等含む）が品質を確保したうえで、環境に配慮された製品開発を進めている。						6							12	13	14	15		
	31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	・「最高品質の医療機器を提供して国際的に貢献しよう」という経営理念を実現する製品の１つとして、薬液の無駄を省き、より多くの方へのワクチン接種等を可能にした注射針を提供している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	・ISO14001を取得し環境マネジメントシステムを運用し、環境や生態系に悪影響を及ぼさない運用をしている。				4					9		11	12		14	15		17
	33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	・新型コロナ発生時に栃木県へワクチン用注射針を寄付 ・新型コロナによる医療機関の活動に協賛 ・地元プロバスケットチームへのスポンサー ・地元の体育および文化的行事への寄付				4							11			14	15		17
	34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用	・社員食堂の食材は地元産のものを使用し、地産地消を行っている								8	9		11	12	13				
組織体制	35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している		○		基本	・コンプライアンス基本方針に掲げ、研修を通して社員に周知している。																16	
	36	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	・経営理念を明文化している。 ・経営者が月次朝礼などにおいて、経営理念、経営目標を社員に伝えている。								8	9								17
	37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用	・コンプライアンス基本方針に基づき、その実施体制整備としてコンプライアンス基本規程の策定、コンプライアンス委員会の設置等進めており、適切に運用している。																16	
	38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用	・専任部署はないが、環境事務局・労働安全衛生委員会を設置し対応している。 ・加えて環境に関しステークホルダーへの影響をアセスメントしている。																16	
	39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		○		応用	・リスクの洗い出し、評価、防止策の策定・実施をコントロールするリスクマネジメント委員会を設置する準備を進めている。 ・　品質マネジメントシステムにおける製品のリスクマネジメントを行っている。																16	
	40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		○		応用																	16	

様式3号

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		○	○	応用	・ステークホルダーと対話し、安全、安心な環境づくりなどに適切に対応している。																16	17
	42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用	・BCPを策定し、事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した対策を立案、実施している。								9		11		13 13.1			16	
	43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			○	応用	・事業承継は実施済み。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																						
2																						
3																						
4																						

【記載留意事項】

・ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する場合は赤字で番号を記載しています。（ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングの整数はＳＤＧｓのゴール（例：７）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度　など）